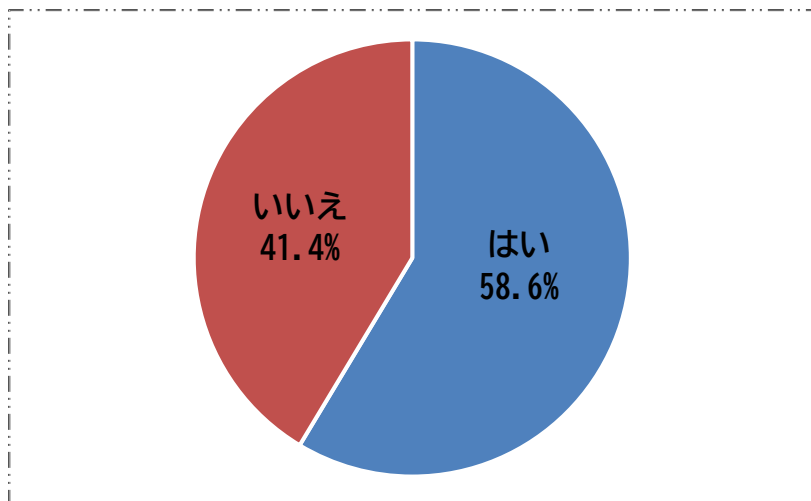


【令和7年度】第四次瑞穂町子ども読書活動推進計画の 進捗状況に関する調査報告

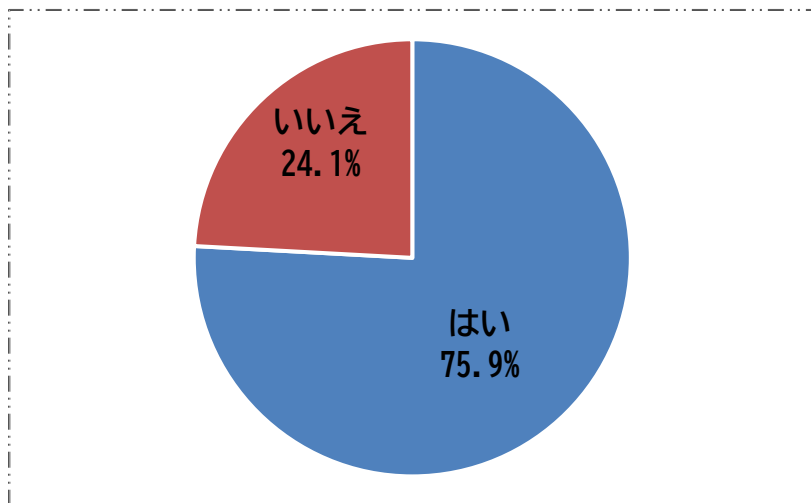
Q1. 図書館で団体貸出を利用したことはありますか。

はい=17 いいえ=12



Q2. 第四次瑞穂町子ども読書活動推進計画を知っていましたか。

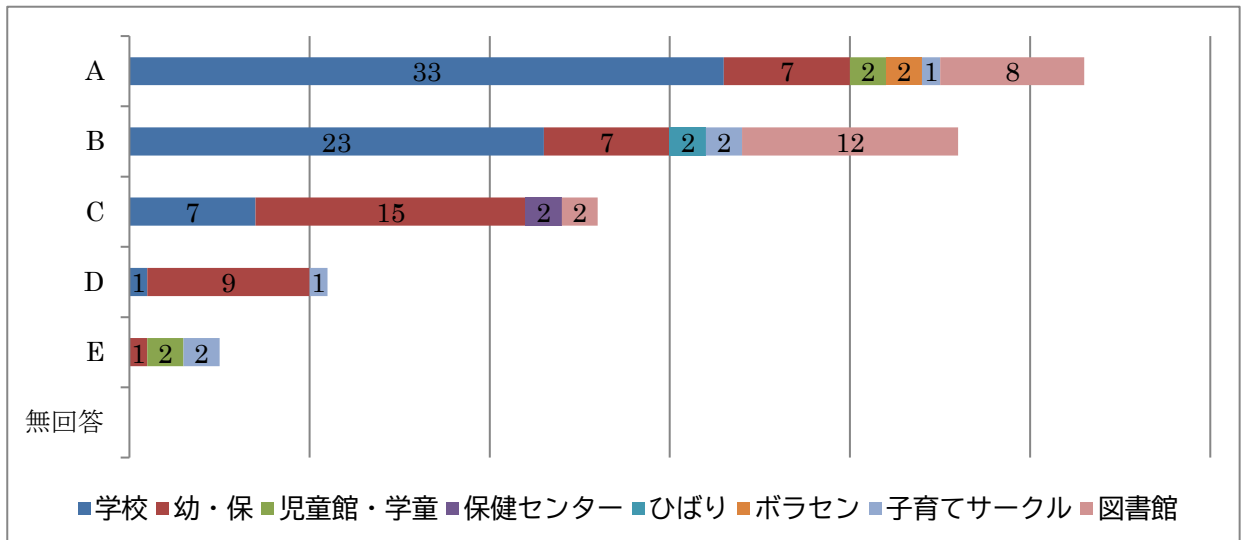
はい=22 いいえ=7



Q3. 第四次瑞穂町子ども読書活動推進計画において期待される取組に対する評価

	R 7 (141項目中)	
A (大変よくできた)	53	37.6%
B (よくできた)	46	32.6%
C (ふつう)	26	18.4%
D (できなかった)	11	7.8%
E (全然できなかった)	5	3.5%

(内訳)

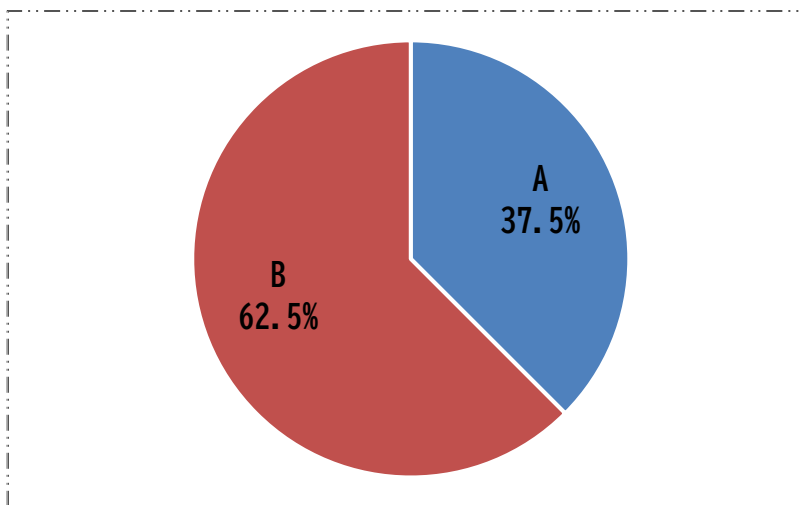


Q4. Q3に関する具体的な取組

【学校】

① 児童・生徒の成長・発達と興味に応じた蔵書の充実を図ります。

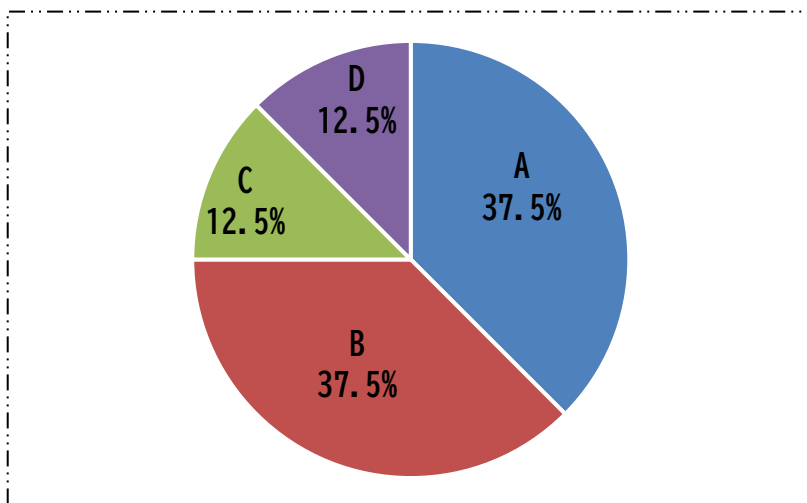
評価 A=3 B=5



- ・ 教科書の改訂に伴い、教科書に紹介されている本を中心に選書したので、児童の興味対象となる楽しい本、リクエスト本などはあまり増やすことができなかった。
- ・ 教科書に紹介されている本の大部分が揃い、授業の資料に利用されている。
- ・ 国語科の研究の中で、並行読書に取り組むために蔵書の充実を図ることが基本となっている。
- ・ 教科書改訂に伴う掲載図書の購入を引き続き行い、授業に役立つ蔵書を拡充する一方、TRCランキングや児童からのリクエストにも対応し読むべき本、読みたい本が揃うように、蔵書を充実させている。
- ・ 希望する書籍の内容にもよるが、児童からリクエストのある書籍を購入している。
- ・ 選書については、教員から意見・要望を聞きながら、各学年の授業や行事に関係するものは積極的に購入している。
- ・ カウンターに「予約・リクエストボックス」を置き、児童の興味・要望に対応している。
- ・ 全体のバランスを考慮しつつ、購入や古くなった図書の更新を定期的に行っている。
- ・ 昼の放送などで、図書委員会から呼びかけをしている。
- ・ 図書委員会と連携し、生徒たちが要望する本を購入した。
- ・ 絵本からヤングアダルト向けの小説まで幅広く選書するよう心掛けている。
- ・ 生徒の興味を把握するため、来館した生徒に積極的に声を掛けるようにしている。
- ・ 調べ学習に役立つ資料や進路に関する本も幅広く揃えたい。

② 司書教諭と学校図書館司書を中心に、各担任と連携を図り、学校の特性を生かした活動を推進していきます。

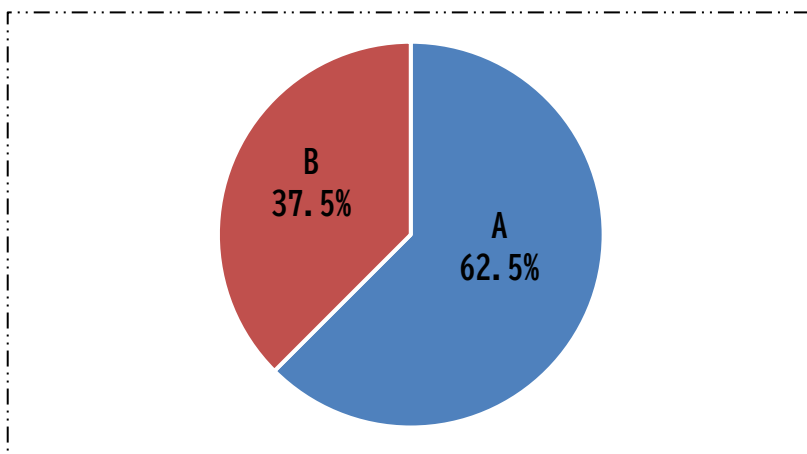
評価 A=3 B=3 C=1 D=1



- ・ 担任教諭・図書担当講師・司書で連携し、図書室の授業の際には「自分の気に入った本」「今日の授業で読んだ本」などを紹介しあうなど、どの本を手にとればよいか迷っている児童の手がかり・きっかけづくりをしている。
- ・ 4年生が授業で作成したPOPや、3年生が実施したビブリオバトルの【チャンプ本】の紹介カードなどを図書室に飾り、学年を超えた本の紹介をした。
- ・ ほかの児童が紹介している本が気になるようでよく見て、本にも手を伸ばしていた。図書委員が季節ごとに紹介しているPOPつきの本もよく読まれている。
- ・ 学級文庫の充実並びに並行読書と調べ学習の取組を行うために、学級担任と密に連携していくことは必須となる。
- ・ 司書教諭の立場の役割がありませんが、各担任からの幅広い要望に応えるべく資料の収集や各単元での本の紹介を行い活用している。
- ・ 長年に渡り収集した新聞記事も学習で活用され役立っている。
- ・ 図書委員会が読書週間中に読み聞かせを行っている。その時、事前にリクエストを聞いたり各担任と指導したことを伝えたりして、児童が興味をもつような内容で活動をしている。
- ・ 図書の時間では、司書教諭と学校図書館司書を中心に読み聞かせを行っている。
- ・ 担当教員と相談しながら、各教職員と連携し、学習単元の図書資料提供や読書活動、委員会活動に取り組んでいる。
- ・ 「お気に入りの一冊をあなたに一読書推薦文コンクール」参加
- ・ 本の紹介カード、読書郵便、POP作成など
- ・ 特に、学校の特性を生かした取り組みは行っていない。
- ・ 教室に図鑑や辞書を置くことを図書館司書が提案し、学級文庫に置いている。
- ・ 担当教諭と協力して調べ学習や授業内容に合わせた資料提供（都立高校間相互貸借利用も含む）を支援している。
- ・ 畜産、園芸、食品や生活デザインなどの分野に関する専門書を充実させている。

③ 児童・生徒への推薦図書リストの配布や、教師や児童・生徒によるおすすめ本を紹介する機会を作り、読書の楽しさを啓発します。

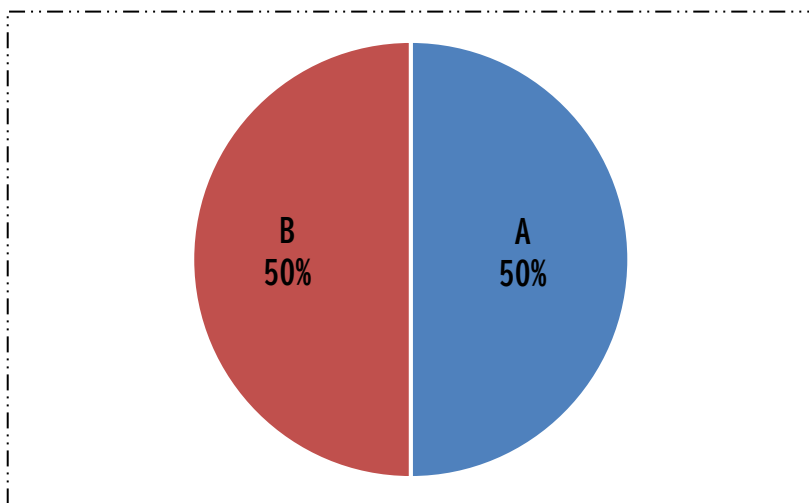
評価 A = 5 B = 3



- ・ 4月にガイダンスを全学年行い、図書室のルール・書架の配置や分類など説明
- ・ 1・3・5年生にはおススメの本100冊が載っている低学年用、中学年用、高学年用の推薦図書リストの冊子を配布し、何を讀んだらよいか迷った時の参考にしてもらっている。
- ・ 1～4年生の図書の授業では、本の読み聞かせと紹介を実施
- ・ 毎月「図書委員会だより」と図書室からの『図書だより』で本の紹介をしている。
- ・ 図書だよりで紹介した本は、POPを付け、コーナーに飾り、手に取りやすくしている。
- ・ 図書委員による季節ごとのPOP付きの本の紹介を行っている。
- ・ 秋の読書旬間・読書週間に、教員も紹介カードを作成しカードと共に本を窓際に展示
- ・ 3・4年生からの紹介カード・POPを飾り紹介
- ・ 国語の言語活動での成果物の展示、全児童による本紹介カードの作成、図書委員会の企画等を年間に何度も実施
- ・ 全学年にむけて推薦図書を選定し、コーナーを設置して働き掛けをしている。
- ・ 月に1回の図書館だよりの発行
- ・ 3・4年クラスで児童が好きな本を紹介する時間を設ける、POPの制作、5、6年のビブリオバトルの実施等で自らの推し本を披露している。
- ・ 図書委員会が読書週間中に読み聞かせを行っている。
- ・ 図書の時間では、司書教諭と学校図書館司書を中心に読み聞かせを行っている。
- ・ 読書旬間や図書だよりを通して、「先生が小学生の時好きだった本」やおすすめの本の紹介を行っている。
- ・ 読書旬間には、教員（担任以外）の読み聞かせを行っており、児童に好評である。
- ・ 委員会や授業を通し、ビブリオバトルやPOPなどで、児童のおすすめ本を紹介
- ・ 各出版社からの推薦があると良い。
- ・ 図書委員会が発行する委員会だよりや、図書館司書が発行する図書館だよりで啓発
- ・ 年に1度、先生方によるおすすめ本のPOPと図書を展示
- ・ 長期休暇前に、季節に合わせたおすすめ本の展示と推薦図書リストを配布
- ・ 毎月、図書委員によるおすすめ本のPOPと図書を展示
- ・ 毎月、司書によるおすすめ本のPOPと図書を展示

- ④ 調べ学習に対応するために幅広い資料を収集します。また、インターネットを含めた情報を収集し、活用する力を育てます。

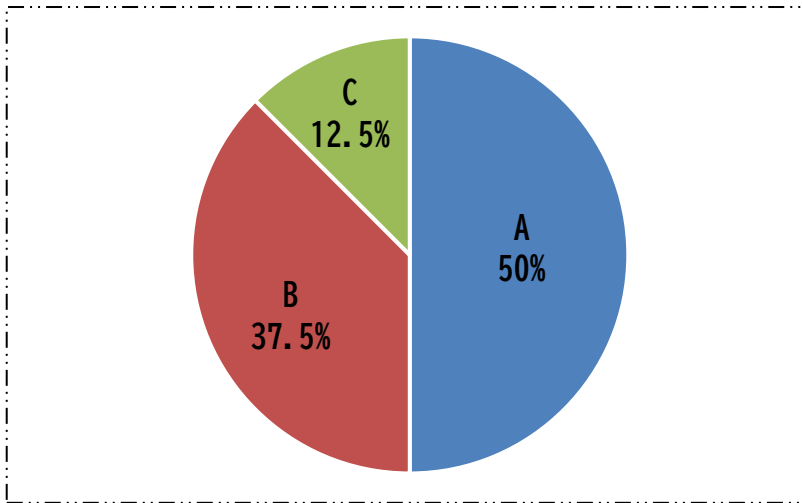
評価 A = 4 B = 4



- ・ 調べ学習についての資料は、学校の蔵書だけでなく町の図書館からも資料を借りて行っている。
- ・ 町等の公共機関が作成したパンフレット類・新聞のスクラップ・インターネットの情報を収集し、郷土資料についてのファイルなどを作り活用している。
- ・ 資料を活用するにあたっての注意・参考文献の書き方などを図書の授業の時に伝えている。
- ・ 瑞穂町図書館をはじめ、他の学校の本など調べ学習において、たくさんの資料を集めている。
- ・ インターネットでも情報を収集してはいるが、複数の本を比べて読む力をつけていきたいと考えている。
- ・ 毎年3年生に「めざせ！図書室で調べるマスター」と銘打ち、日本十進分類、図鑑、百科事典の使い方、調べる学習の注意点を説明している。
- ・ 基本を知った上で、資料を収集し活用する力を身に付け、調べる学習コンクールに結び付く興味関心を育てている。
- ・ 学びのテーマパークを年間28回行い、調べ学習に対応するために幅広い資料を収集したり、インターネットを含めた情報を収集したりして、活用する力を育てている。
- ・ 百科事典、図鑑、辞書、事典、学習年鑑、年次資料、ニュース雑誌等、幅広く収集し、提供に努めている。
- ・ 各教科の学習や総合の学習で調べ学習する際に利用する。
- ・ 総合的な学習の時間の調べ学習において、本やインターネットで情報を収集し、発表する機会を授業の中で設けている。
- ・ 東京都立高校横断検索サイトや瑞穂町図書館の団体貸出を活用し、必要な図書を収集

- ⑤ 本を読むことに支援が必要な児童・生徒の特性、生活経験等を考慮した適切な図書を選定するとともに、ボランティアや教諭による「読み聞かせ」など工夫した読書活動を充実させます。

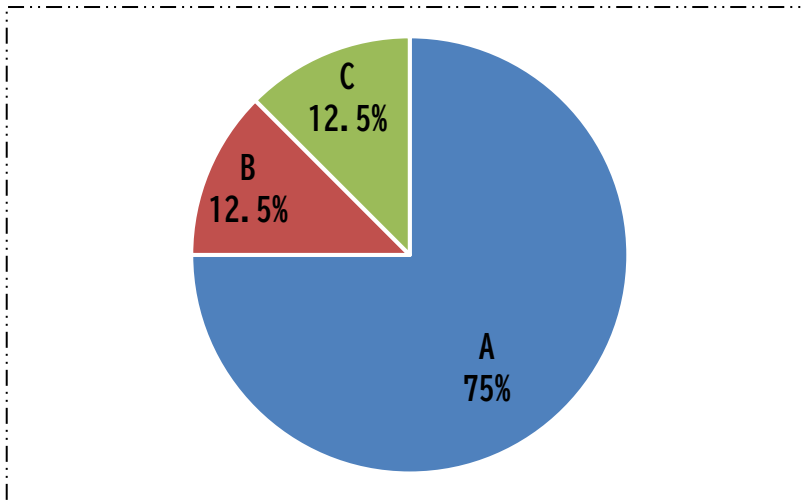
評価 A=4 B=3 C=1



- ・ 低学年・特別支援学級の授業の時には、読み聞かせの際に難しい言葉などは解説を加えたり、言い換えてもう一度繰り返したりしながら読んでいる。○×のクイズを読み終わった後に行うこともある。
- ・ 紙芝居・ペーパーサード・エプロンシアターなどを利用した読み聞かせを実施
- ・ まだ日本語の読めない児童に対応するため、英語圏の低学年向けの洋書も用意し貸出しを行っている。
- ・ 毎学期に1度、読み聞かせボランティアさんに来ていただき、読み聞かせをしていただいている。今年は、読み聞かせボランティアさんに読んで欲しい本を、5年生が国語の授業の一環として、紹介して全校で読み聞かせをしてもらおうという活動をするなど、相互的な取組となっている。
- ・ 通級学級向けに「わいわい文庫マルチメディアデージー図書」の寄贈を頂き設置した。
- ・ 図書室内にはリーディングトラッカーを置いて、必要な児童に貸し出している。
- ・ 図書費の一部を通級学級用に配分
- ・ 図書委員会が読書週間中に読み聞かせを行っている。
- ・ 図書の時間では、司書教諭と学校図書館司書を中心に読み聞かせを行っている。
- ・ 担当教員と相談しながら「よつば学級」への図書選定、貸し出している。
- ・ 図書の授業や休み時間には、必要に応じ、担任、関係する教員、図書司書等が本選びのサポート、見守りを行っている。
- ・ リーディングトラッカーやリーディングループを提供
- ・ 低学年の授業を中心に学齢や季節にあわせた読み聞かせを行っている。
- ・ 昼の放送で、図書委員から絵本の読み聞かせを行った。
- ・ いじめや不登校、性に関する本を図書室にコーナーとして設置し
- ・ 「読み聞かせ」については3月に2年生で実施予定
- ・ 読書をサポートする工夫として、リーディングトラッカーを目に入りやすい場所に配置
- ・ 日本語に不慣れな生徒のためにひらがなの多い絵本を選書するようにしている。

- ⑥ 読書計画を教育課程に位置づけ、意図的・計画的に読書の時間を設け、子どもが読書の楽しさや良さを味わえるような指導の工夫や取組を充実させ、読書の領域を広げていきます。

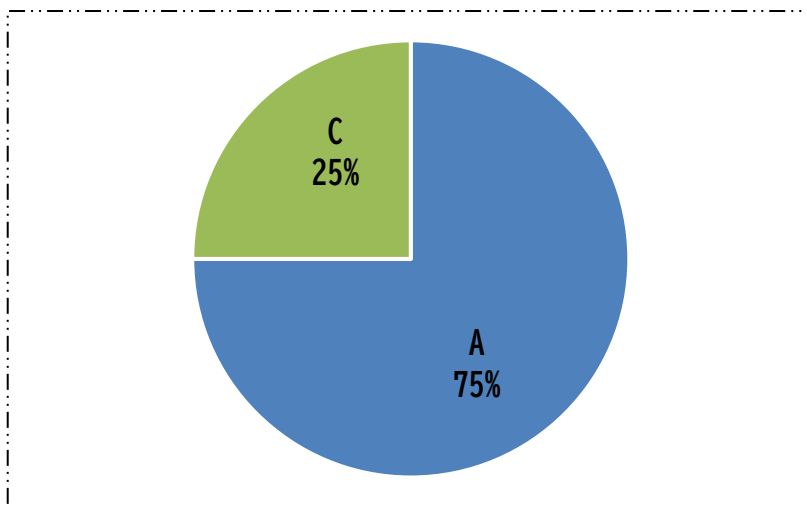
評価 A=6 B=1 C=1



- ・ 1～4年生は毎週図書の授業があり、読み聞かせ・紹介・貸出返却をしている。
- ・ 5・6年生は、ガイダンス・調べ学習（まとめ方・引用と出典・参考文献）については授業時間内で実施している。普段は児童が個々で図書室を休み時間に利用する形態となっているので、なかなか直接読み物・新着本などを紹介する機会がなく残念である。
- ・ 教育内容に合わせた資料は各学年の希望で用意している。
- ・ 朝読書や授業での並行読書の取組、調べ学習の取組等、読む機会を増やし、読書の領域を広げながら読んでいる。
- ・ 年間貸出冊数2万冊を目標に今年度も達成見込み
- ・ 教育課程に寄与することを基本に、国語単元を意識した本の紹介を行い、並行読書への道筋を作っていける様、各担任と話し合いの上で、児童の好みの本のレベルアップを図っている。
- ・ 各学級の時間割に図書の時間を作成している。そのことによって、図書室を優先的に使用できる環境を作っている。
- ・ 読書計画を教育課程に位置づけ、朝読書、「読書の木」（読書記録）、読み聞かせ等、読書活動を工夫することにより、読書好きの児童を増やすよう努めている。
- ・ 朝の登校後、朝読書の時間を確保して、読書する習慣をつけさせている。
- ・ 朝学活前の10分間を読書時間として学校全体で取り組んでいる。
- ・ 本校は農業分野（園芸科学科・畜産科学科・食品科）や家庭分野（生活デザイン科）を学ぶ専門高校のため、教育課程に読書活動を位置づけることは容易ではない。しかし、長期休暇中には読書感想文を課題として設定し、生徒が読書に親しむ機会を確保している。

- ⑦ 子どもたちに読書習慣を身に付けさせるため、全校一斉の読書活動(朝読書・読書週間・読書月間など)を設定するなど、読書時間を確保します。また、読書の記録簿の活用を推進していきます。

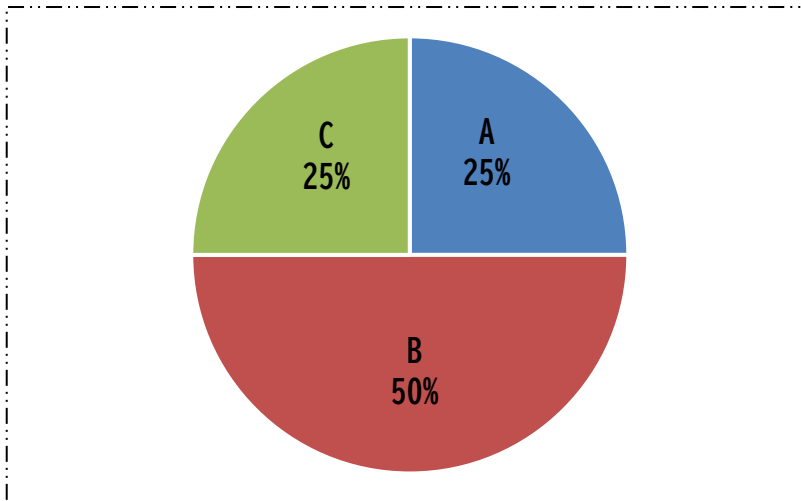
評価 A=6 C=2



- ・ 朝の一斉読書はそれぞれの学級により差がある。
- ・ 各学期に読書旬間が設けてあり、図書委員もPOP・ポスターなどで啓発活動を実施
- ・ 1・2年生は、従来通りの紙面での読書通帳、3～6年生はタブレットに入力する読書通帳を利用
3年生はタブレットの操作・入力が困難で、入力にとっても時間がかかった。また、学年を問わず、タブレットの不調で初期化となりデータが消えてしまう事案が発生した。紙ベースの時と違い途中経過を担当がチェックすることもあまりなかったらしく、入力できていないという声をよく聞く。読書通帳については来年度紙ベースに戻したほうが良いのではないかと思う。
- ・ 朝読書、読書旬間など設定
- ・ 読書記録簿は全児童で書き込んでいる。
- ・ 読書旬間の際には学校だよりや児童朝会で読書月間について伝える等、児童の読書意欲増進に努めている。
- ・ 読書旬間の年3回実施
- ・ 朝読書時間の確保
- ・ 週1回は各クラスとも図書室に来室し、読書する環境を整え、学級文庫を学期毎に入れ替えることにより、常に本と触れ合っている。
- ・ 1年生から5年生は読書記録カード、6年はタブレットに記録、全児童の進捗状況を確認しています。
- ・ 年間を通して、基本的に毎週水曜日の朝学習の時間を、読書の時間として設定
- ・ 年3回学期ごとの読書旬間、毎週木曜日の朝読書を設定している。
- ・ 全校にて「読書の木」(読書記録)に取り組み、目標達成者には、全体への励みとなるよう、学期末表彰を行っている。
- ・ 朝読書
- ・ 夏季休暇中を「読書月間」として設定し、読書時間の確保に努めている。ただし、読書記録簿の活用は行っていない。

- ⑧ 各教科・特別活動・総合的な学習の時間などにおいて、学校図書館を積極的・計画的に利用し、子どもの主体的・意欲的な読書活動や学習活動を充実させます。また、読み聞かせ等のボランティア派遣を積極的にすすめます。

評価 A=2 B=4 C=2



- ・ 児童が自分で資料を選ぶ時の参考となるように、図書室の蔵書を使い9の分類に限らず、いろいろな分類の本を書架の位置なども確認させながら読み聞かせ・紹介した。
- ・ 図書室にいろいろな学習時に利用できるように資料を用意しており、授業で使う調べ学習にも自校の蔵書も利用している。その際、あえて「〇〇に関する××」という間接的な資料も加えている。テーマの事柄からいろいろな方向にアンテナが向き視野が広げられるようにしている。
- ・ 読み聞かせは社協のボランティア団体を利用して協力を仰いでいる。
- ・ 国語や総合など本をよく読む活動を行っている。
- ・ 読み聞かせボランティアさんの派遣をして頂き、授業の充実を図っている。
- ・ 様々な教科で図書資料の大切さを認識して頂き、町図書館の本も提供を受けながら児童が図書資料でインプットしたものを咀嚼しアウトプットしていく学びを実現している。
- ・ 読み聞かせボランティアは保護者にも募集しているが、より参加者が必要と思われる。
- ・ 全ての学級ではないが、「みずほ学」での活動を通してボランティアを活用している。
- ・ 週1時間の図書の時間他、国語を中心に各教科や総合の時間などにおいて随時利用されている。
- ・ 単元等に関係する本のクラス貸出や町の図書館からの団体貸出も活用されている。
- ・ 年3回の読書旬間には、地域ボランティアによる読み聞かせを続けている。
- ・ 計画的に利用しているかと言われれば、そこまで計画的とは言えないが、各教科で利用する機会はある。
- ・ 朝読書のために図書室を計画に利用している。
- ・ 総合的な学習の時間や進路学習、課題研究、調べ学習などで、学校図書館を活用し、図書から学びを深めている。
- ・ 読み聞かせ活動の充実を図るため、多摩図書館の申込制プログラムを利用して「読み聞かせ講座」を実施した。
- ・ 瑞穂町図書館の協力を得て、ブックトークの授業を実施

【図書館】

- ① 子ども個人の興味や関心・発達段階に合わせた選書を行い、蔵書の充実を図ります。

評価 B

- ・様々な分野、対象年齢の資料を選書し、充実を図った。

- ② ティーンズ（おおむね小学校高学年から高校生）向けの蔵書を積極的に収集し、児童書から一般書への移行を支援します。

評価 A

- ・ティーンズ向け資料を意識的に選書し、企画展示の際に児童書とティーンズ資料を同時に展示することで、一般書への移行支援を実施
- ・ティーンズコーナーに児童書と一般書を混在させている。

- ③ 図書館及び地域図書室における「おはなしの会」の内容を充実させ、ボランティアと協働してより多くの方に参加してもらえるような事業を目指します。

評価 A

- ・7月に来館者20万人達成祝いやボランティアセンターとの協働で、紙芝居の発表会を実施、ジュニアリーダー事業への協力など、充実したおはなしの会を実施できた。

- ④ 子どもや子どもの読書に係わる大人を対象とした図書館講座を企画します。

評価 A

- ・2月に小・中学生向けのプログラミング講座とハンドメイドワークショップ、3月に読書講演会を実施予定
- ・子どもと大人、それぞれを対象とした講座により、幅広い世代に周知できた。

- ⑤ 子どもの視点を取り入れた事業を企画します。

評価 A

- ・子どもが作成したPOPやオススメ資料の展示を実施
- ・3月に、図書館ファンクラブ「MIDORI」と共催し、ファンクラブ所属児童・学生の意見を取り入れたイベントを実施予定。また、同イベントで包括連携協定をもとに、駿河台大学学生と協働する。

- ⑥ 調べ学習について、資料の充実とともに、職員が調べ学習の方法を研究し、より多くの子どもたちの疑問が解消できるように努めます。

評価 B

- ・よい作品をつくるためのアドバイスができる相談会を開催し、応募する子どもたちの疑問等の解消に努めた。

- ⑦ 図書館を使った調べる学習コンクール（地域コンクール）を継続し、興味を持ったことに対し、自ら調べ、まとめ、発表することを通して、課題解決力を育成します。

評価 B

- ・ 瑞穂町調べる学習コンクールを継続し開催できた。
- ・ 複数回応募する児童・生徒も増え、内容が充実した作品が増え、それぞれ探求心が旺盛で主体的に学ぶ喜びが読みとれるものが多く、継続による成果があった。

- ⑧ 春の子どもの読書週間と秋の読書週間に、乳幼児から高校生向けの良書案内を作成、配布します。

評価 B

- ・ 読書週間にあわせ、オススメ図書ポスターの作成、館内展示及び保育園、幼稚園、学校等に配布を実施

- ⑨ 子どもが本と出会う機会を増やすため、企画展示を充実します。

評価 A

- ・ みずほ育の展示スペースを活用し、企画展を月1回程のペースで実施

- ⑩ 読書への意欲を高め、読書に親しむ方策として、読書手帳を活用します。

評価 B

- ・ 読書手帳1冊完了ごとに景品を用意することで、手帳の活用を推進した。

- ⑪ 乳幼児向けの読書手帳「本の思い出」の効果的な活用方法を検討します。

評価 B

- ・ 保健センターと連携し活用した。
- ・ 効果的な活用について、検討中

- ⑫ 図書館の利用をさらに促進するため、子ども・保護者に対する広報及び相談活動を充実していきます。

評価 B

- ・ 広報、瑞穂の教育、ホームページ、SNS等を活用し、子どもや保護者に対する広報を実施
- ・ 利用者に対してオススメ資料等に関する相談活動を実施

- ⑬ 子ども向けホームページの充実に向けて研究します。

評価 A

- ・ ホームページをリニューアルし、子ども向けページの充実を図った。

- ⑭ 子どもが気軽に本に親しめるような場を提供します。

評価 B

- ・ 様々な読書スペースを館内に用意し、場の提供を行った。

⑮ 地域の読書活動に関わる情報拠点としての機能を充実していきます。

評価 B

- ・地域で読み聞かせ等を行う団体や施設の方に対し、団体貸出や大型絵本の貸出等を実施

⑯ 学校における「読み聞かせ」の支援や学校への団体貸出、学校への本の配送など、学校との連携を継続します。

評価 A

- ・読み聞かせの支援や、団体貸出、配送等、学校との連携を継続した。

⑰ 生活科見学や職場体験などを積極的に受け入れ、子どもが図書館を見学、体験する機会をさらに拡充していきます。

評価 A

- ・町内の学校等からの見学、職場体験の受け入れを実施
- ・町外の学校からの職場体験の受け入れを実施

⑱ 保健センターにおける育児相談時に実施している「読み聞かせ」では、子どもたちの発達に応じた選書に力を入れます。また、保護者が子育てを楽しめるような絵本を選書・紹介し、0歳児から図書館を利用でき、絵本が親子のコミュニケーションのツールになることを啓発します。

評価 B

- ・子どもたちの発達に応じた選書を行い、読み聞かせを実施した。
- ・保護者からの読み聞かせも促し、絵本をコミュニケーションツールとして利用してもらう取り組みを実施

⑲ 図書館のリサイクル図書の再活用は、保育園、幼稚園、小・中学校等を優先して行います。

評価 B

- ・保育園・幼稚園、小・中学校、学童関係団体等に向け、事前配布を実施

⑳ 本を読むことに支援が必要な子どもに対するサービスとして、点字付き絵本や LL ブックをはじめとしたアクセシブルな資料を収集します。

評価 B

- ・現存の資料を活用した展示を実施

㉑ 外国語を母語とする子どもの読書活動を支援するため、英資料を中心に、地域の実情に合わせた外国語資料を収集します。

評価 C

- ・現窓口等で、必要な言語の情報収集を実施

② デジタル化した地域資料の効果的な活用手法を検討し、地域を愛する機運の醸成に繋がります。

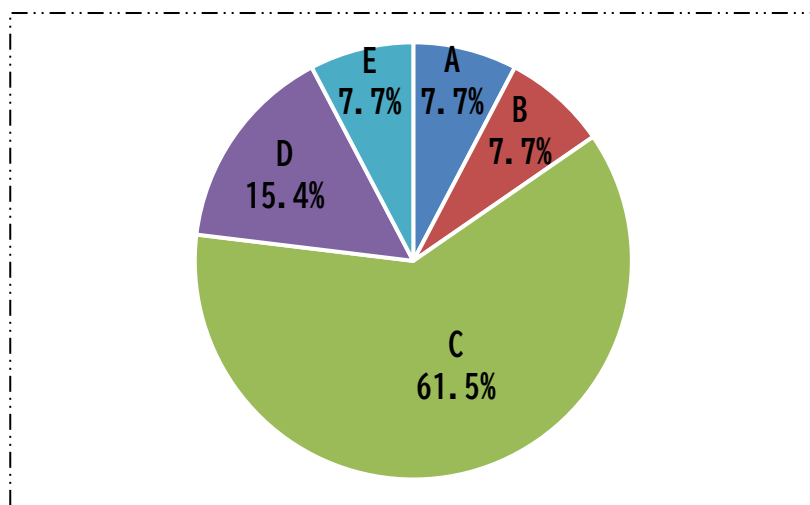
評価 C

- ・ みずほ探検アプリ終了に伴い、今後の活用について研究中

【幼稚園・保育園】

- ① 保護者に対して読書への理解を深めるため、「園便り」などを通して読み聞かせの啓発に努めます。

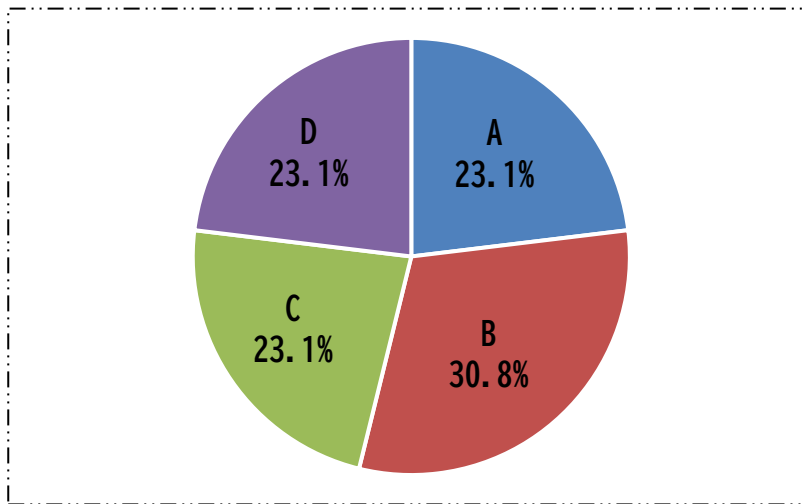
評価 A=1 B=1 C=8 D=2 E=1



- ・ 保護者に向けて読書の大切さをお手紙で伝えている。
- ・ ポスター掲示や、園内で図書委員会を設置し、絵本コーナーを充実させ、保護者が子どもと絵本に触れられるようにしている。
- ・ 年齢ごとにお便りで子どもたちが好きな絵本の紹介をしている。
- ・ 園だよりやクラスだよりの他、「ふれあい図書だより」を発行
- ・ 園の図書貸出により、読み聞かせを促している。
- ・ 園内の図書コーナーについて、子どもが毎日自由に使用している。
- ・ 毎月、保護者向けにおすすめ図書の紹介をしている。
- ・ 絵本の読み聞かせの効果は年度初めに保護者に伝え、自園でも図書館を作り、保護者や園児に向けて絵本の貸出しを実施
- ・ 玄関にお知らせを掲示
- ・ 毎月絵本を配布し、家庭でも読んでもらうようお願いしている。
- ・ お便りではなく、保護者面談を通して子育てに必要な家庭保育での本を紹介し、個々に見合ったものを貸し出している。

② 町の読み聞かせ推進事業や図書館のリサイクル図書を活用し、読書環境の整備に努めます。

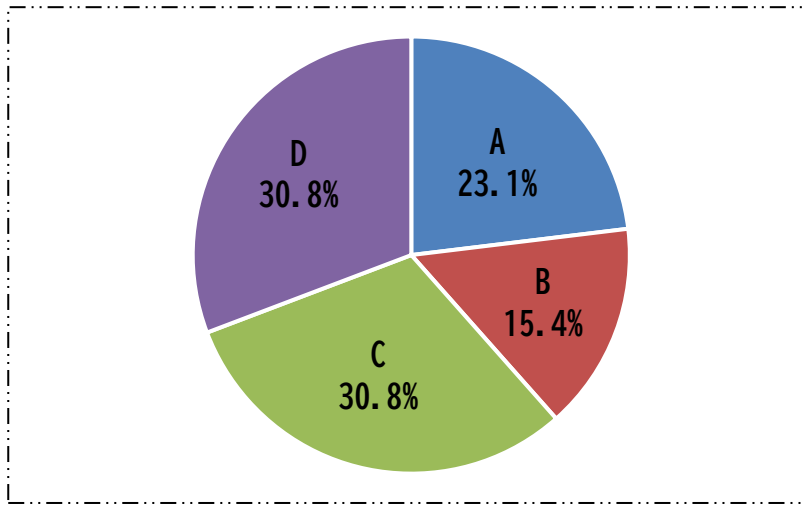
評価 A=3 B=4 C=3 D=3



- ・ 子どもが自由に読めるように読書コーナーを設けている。
- ・ 希望図書を活用したり、リサイクル図書を活用したりして、絵本コーナーを充実させ、子どもたちに読み聞かせている。
- ・ 読み聞かせ推進事業で購入していただいた本を活用し、沢山の本を用意している。
- ・ 保育の中で絵本の読み聞かせは1日の中で何度も取り入れている。
- ・ 園内にも絵本があるため、あまり活用していない。
- ・ 町の読み聞かせ推進事業を活用し、園児へ読み聞かせを行なっている。
- ・ 以前は、図書館のリサイクル図書の活用を行なっていたが、絵本を置くスペースが限られているため、本年度は活用していない。
- ・ 町から配布のあった本や、以前もらったりリサイクル図書を保育の中で活用している。
- ・ 町からいただいた本を午睡前に読み聞かせに活用
- ・ 子ども達自身、選んで好きな絵本を見ることが出来る時間をつくっている。
- ・ 活動の節目に読み聞かせを実施

③ 図書館からの「幼児向け良書案内」を活用するなど、図書館と連携を充実します。

評価 A=3 B=2 C=4 D=4



- ・案内をいただいた際は絵本コーナーなどに掲示している。
- ・「良書案内」は保育園の絵本の購入にあたり、大変役立っている。
- ・案内は保護者への掲示板に貼って通知している。
- ・ポスターの掲示協力をしたが、その他の協力はあまりできなかった。
- ・今後、図書館に行っておすすめの本を教えてもらうなど連携ができると良いのではと思う。
- ・各々の家庭が有効に活用しているようであり、子どもからも話を聞くことが多い。

【あすなろ児童館・学童保育クラブ】

① 幼児と保護者向けの事業を引き続き行う中で、読み聞かせを充実します。

評価 A = 1 E = 1

- ・ 幼児と保護者向けの「幼児事業」では、日常的に読み聞かせ等を行っており、月齢に合わせたお奨めの絵本の紹介も行っている
- ・ 幼児室では、定期的に送られてくる絵本の紹介冊子を配布している。

② 図書館のリサイクル図書の有効活用を積極的に行い、読書環境の整備に努めます。

評価 A = 1 E = 1

- ・ 図書館のリサイクル図書の有効活用として、提供頂いた図書を「図書室及び幼児室」の本棚に並べ、手に取りやすくするなど、読書環境の整備に努めている。

【保健センター】

① 乳児(3～4か月)健診時に来所したすべての乳児を対象に絵本を配布し、読み聞かせのデモンストレーションを実施するなど、ブックスタート事業を推進します。同時に、乳幼児向けの読書手帳「本の思い出」を配付します。

評価 C

- ・ 3～4か月児健康診査に来所したすべての乳児を対象に、ブックスタート事業として絵本を2冊、読書手帳「本の思い出」と図書館のリーフレットを配布
- ・ 読み聞かせボランティア団体の活動終了により、読み聞かせのデモンストレーションは未実施

② 図書館のリサイクル図書を活用し本を備えます。また、ブックスタートのパンフレットを配布したり、健康・育児・栄養相談時に、図書館職員が読み聞かせを行うなどの事業を実施します。

評価 C

- ・ 来所した親子が健康診査や手続き等の待ち時間に読書ができるよう、ホールに絵本を設置
- ・ 設置している絵本は、図書館からのリサイクル図書だけではなく、住民からの寄付でいただいているものもある。
- ・ 育児・栄養相談時に来所したお子さんに対し、月1回図書館職員が読み聞かせを実施

【子ども家庭支援センターひばり】

① 保護者交流事業やボランティアによる読み聞かせ事業を実施していきます。

評価 B

- ・ 「おはなし はじまるよ」(乳幼児対象の読み聞かせ事業。乳幼児とその保護者に対し、読み聞かせの方法等を学ぶ機会を提供する事業) 実施

② 図書館のリサイクル図書を活用し、図書コーナーを充実させます。

評価 B

- ・ 図書館の協力を得て、図書コーナーを充実させることができた。

【ボランティアセンターみずほ】

- ① 地域の育児サークルなどが行っている「読み聞かせ」などの活動への参加を促進します。

評価 A

- ・ ボランティア団体による読み聞かせの実施
- ・ 小学校と連携し、ボランティアが学校へ赴き、読み聞かせを実施

- ② 育児サークルやその活動内容の情報を提供します。

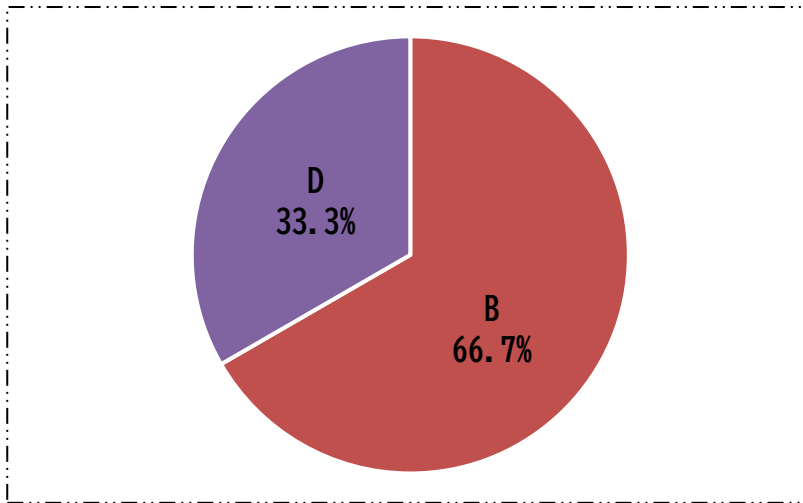
評価 A

- ・ ボランティア通信で、読み聞かせの様子を伝えている。
- ・ SNSで、読み聞かせの様子を伝えている。

【子育てサークル】

- ① 子どもたちの興味をお話に向けさせるように読み聞かせを積極的に取り入れた活動
をします。

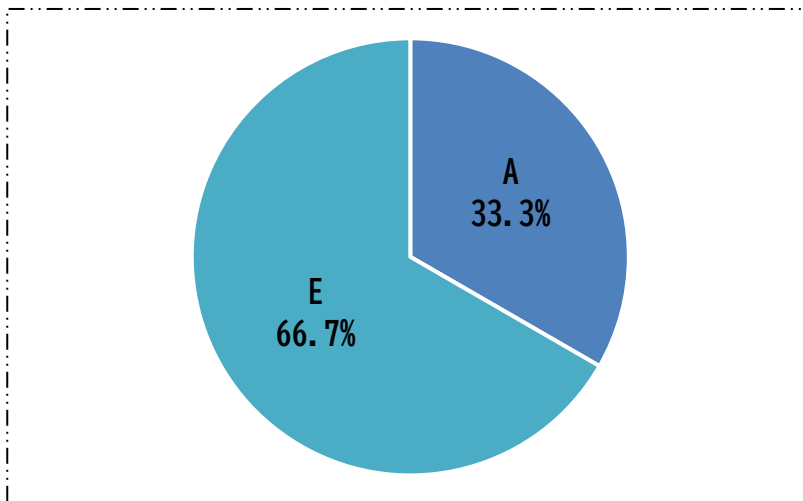
評価 B = 2 D = 1



- ・ 毎週木曜午後3時30分～午後4時…おはなしの会
- ・ 毎月第4木曜午前10時30～午前11時…おはなしこぼんだ
- ・ 月1回の居場所づくりでは、絵本、紙芝居等、図書館から借りて、読み聞かせを実施
- ・ ハロウィンやクリスマス、畑での収穫体験など、季節や活動にあった絵本を読んだが、今年度は屋外での活動が多かった為、前年度より絵本を読む機会が減ってしまった。

- ② 図書館から読み聞かせに適した本等の団体貸出を利用します。

評価 A = 1 E = 2



- ・ 瑞穂町立小学校のうち、第4小学校を除きすべての小学校での朝読み
- ・ 瑞穂第一小学校、瑞穂第三小学校における放課後子供教室
- ・ 瑞穂第二中学校1年生への読み聞かせ
- ・ 子ども食堂、コミセンまつり等への参加
- ・ 団体のカードを作っていない（複数団体に所属し、一方の団体カードのみを利用している。）。

Q5. Q4以外の取組

【学校】

- ・特に低学年、特別支援学級の昔話などを読み聞かせする時には、紙芝居・ペープサート・エプロンシアターなどを使い、わかりやすく、楽しく読み聞かせをしている。その後、同じ主題の絵本を読み、次には児童からの読み聞かせや、童謡に合わせてペープサートを使うなど、繰り返すことにより、楽しみながら登場人物や物語を覚えてもらっている。
- ・読書活動を推進するために、担任による読み聞かせをする機会を設定している。
- ・ポプラ社全国学校図書館POPコンテストに130点応募、読書推せん文コンクールに5・6年108作品応募、第5回「小学生がえらぶ！こどもの本総選挙」に全校で応募、「瑞穂町図書館を使った調べる学習コンクール」に123作品応募などに取り組んだ。
- ・主な取り組みとしては、読書週間と朝読書を行っている。
- ・集会では図書委員会での発表あり。
- ・読書旬間を利用した、図書委員会を中心としたイベント（読書郵便、読み聞かせ、クイズ、おみくじ、図書室装飾など）を企画
- ・「調べる学習コンクール」「お気に入りの一冊をあなたへー読書推薦文コンクール」「小学生が選ぶ！こどもの本総選挙」等、学校外のコンクールやイベントにも参加
- ・入学時に図書館オリエンテーションを実施し、利用方法やおすすめ本を紹介している。
- ・毎月『図書館だより』と新着図書案内を掲示板に掲載し、最新情報を共有している。

【幼稚園・保育園】

- ・職員会議にて、定期的に職員が絵本を紹介し、子どもたちの読み聞かせにつなげられるようにしている。
- ・日々の保育の中で、絵本や紙芝居を利用し、読み聞かせを実施
- ・四季に合わせて日々の読み聞かせを行っている。
- ・日々の保育の中で絵本の読み聞かせを実施
- ・クラス活動以外でも、絵本に触れる機会を多く設けている。
- ・絵本が大好きな子どもたちであるため、自由時間などの際は自ら絵本を読む（読書）姿が見られる。
- ・毎日、絵本を読む時間を作っている。
- ・各保育室に年齢にあった図書を置き、子どもや保護者が、自由に見たり読んだりする機会を多く持つようにしている。
- ・なかなか落ち着いた生活が送れない子に対し、興味のある図鑑やパズルの入った本等を提供し、じっくり取り組める環境づくりや、コーナーを設け、落ち着いて本の読める環境にしている。

【あすなろ児童館・学童保育クラブ】

- ・ 季節や時事に合わせて、本や雑誌が目立つように「ポップアップ（効果的な広告）」することにより、来館者の目につき、手に取りやすくしている。
- ・ 子ども達が興味をもつように、棚の上に並べる等、「ポップアップ」により目立つように工夫している。

【ボランティアセンターみずほ】

- ・ 地域住民からの寄付や、図書館からのリサイクル図書を箱根ヶ崎駅に設置している本棚で貸出しを実施
- ・ 駅の図書コーナーの本は、ボランティアが入替作業や整理を実施
- ・ 夏の体験ボランティアにて栞を手作りし、箱根ヶ崎駅に設置

【子育てサークル】

- ・ 小学校で行っている朝読書の読み聞かせを、メンバー数人が手伝っている。
- ・ 瑞穂町の絵本の無料配布で絵本を頂き、子どもたちにプレゼントをするなど、遊びの中で自由に読める本として利用している。

Q6. 読書以外で普段子どもとどのように関わっているかを記入してください。

【学校】

- ・ 休み時間の委員の仕事のとりまとめ等の委員会活動の手伝い。
- ・ 休み時間などの避難訓練には、図書室に来ていた児童を引き連れ参加する。
- ・ 児童と一緒に清掃作業。
- ・ 調べ学習の助言・資料集めの手伝い。また調べ学習にかかわるまとめ方ルール・参考文献・著作権法などの決まりを知らせる。
- ・ 各学期・年間・卒業年次生の表彰状の作成。しおりの用意。
- ・ 学期ごとの各学級の読み聞かせ表を作る。統計を調べ、表にする。
- ・ 読み聞かせボランティアの当日対応と読み聞かせ表を作る。
- ・ 蔵書管理（注文・入荷処理・廃棄処理を含めて）。書架整理。資料集め。必要と思われる資料の書誌をリストにする。
- ・ 授業・休み時間等、児童の関わる機会において、体を動かす機会を作っている。
- ・ 高学年が立ち寄り、悩みを話す児童もいる。必要があれば担任に連絡をしている。
- ・ 図書委員が手足となり活動してくれてとても頼もしい限りである。
- ・ 三小での勤務が長くなり、児童と一緒に下校したりする時もあり、それぞれの成長を感じる事が多々ある。
- ・ 調べ学習で関わっている。
- ・ 年度当初のオリエンテーションはじめ、調べものの際、本の探し方、調べ方等サポートを行っている。
- ・ 学校図書館や本に親しみを持ってもらえるよう、児童と共に季節に応じた展示や装飾、読書旬間でのしおり作りなどを行っている。
- ・ 教育活動全般にわたって生徒と関わるよう努めている。
- ・ 勤務時間全てに関わっている。
- ・ 誰もが安心して気軽に立ち寄れる、心地よいスペースを提供したいと心掛けている。

【幼稚園・保育園】

- ・ 本の内容と手遊びをつなげたり、意識や期待を持たせたりするような導入を行っている。
- ・ 子どもたちの「やりたい」に耳を傾け保育内容につなげている。
- ・ 子どもの興味のある題材を通して、発表会の演目につなげられるようにしている。
- ・ 自然物を図鑑で調べ、探求心を育むようにしている。
- ・ 子どもの年齢に合わせて必要な支援や遊び、生活の仕方等を伝えている。
- ・ ふれあい遊びなど、戸外や室内で活動を通して関わっている。
- ・ エプロンシアター、パネルシアター、手遊び等
- ・ 子どもの気持ちや意欲を汲みながら関わり、過ごしている。
- ・ 年に1回程度、読み聞かせボランティアの受入れを実施
- ・ 瑞穂の郷土料理の打ち込みうどんを教えてくださいました縁で、「おれは、よとう虫」の作者梅田美枝さんにお会いでき、子ども達に読み聞かせを行っていただき、感動した。
- ・ 自由時間に絵本に触れる時間を設けている。
- ・ 設定保育の課業の「文学」の時間に読書活動を実施
- ・ 子ども主体の保育を基本とし、環境や子どもたちの遊びによって育ちをという保育
- ・ 子どもが安心していられるということを第1に考え、また必要な時に必要な関わりをするということを心掛けている。
- ・ 見守り、観察を基本としている。
- ・ 少人数保育という利点を活用し、個別対応ができる保育環境として、全クラス複数保育士を配置して取りこぼしのない様に配慮した保育活動を行っている。
- ・ 行事毎に大型絵本を活用したり、絵本の内容を職員が行事の出し物として親しんでもらう機会を設けている。
- ・ 自分でできたという達成感が味わえるように関わっている。
- ・ 子ども達の声や表情を丁寧に見て、共感して答えるようにしている。

【あすなろ児童館・学童保育クラブ】

- ・ 子どもたちが、安心して過ごすことができる「居場所」となるように心掛けている。
- ・ 一人でも、友達と一緒に、気軽に立ち寄ることができるような雰囲気づくりをしている。
- ・ 学童保育クラブは、主に学校終了後に来る場所であり、積極的に遊びを支援している。屋外では縄跳びや、鬼ごっこ、ドッジボール等のボールあそびをし、外を走り回っているのを児童の近くで見守っている。室内では、カードゲーム、お絵かき、ぬりえ、工作、折り紙等をして過ごしている。児童が怪我をしない様見守り、お友達同士のトラブルを仲裁したり等支援している。

【保健センター】

- ・ 妊婦、0歳から就学前までの乳幼児とその養育者に対して、乳幼児健康診査、講習会、健康や子育てに関する相談・支援などを実施

【子ども家庭支援センターひばり】

- ・ 親子ふれあいあそび…
手遊び、歌遊び、お絵描き等の遊びをしながら、親子のふれあい、保護者同士の交流を深める事業。
- ・ 子育て講座（言語聴覚士による子どもの言葉と心の発達についての講座）…
子どもの言葉に関する心配（発語の遅れ、吃音、構音未熟）は、親の不安を増大させ、それが焦りとなり、子どもに対して過干渉や苛立ちに変わることがある。そこで、子どもの言葉の発達と関わり方を知ることで、子どもの成長を穏やかに見守り、親子の関係が良好になることを目的とする。
- ・ 子育て講座（心理士による子どもの発達や親子関係などについての講座）…
子育て中の保護者の悩み、しつけや親子関係について学び、子育てに前向きになれるヒントを見つけることを目的とする。
- ・ 子育て講座（栄養士及び地域の子育て支援団体による食育講座）…
幼児の食事に関する悩みに寄り添い、親子での楽しく美味しい食事に関する体験を通じて食育の機会を提供することを目的とする。
- ・ お母さんのはあとタイム…
参加者同士が子育てに関する疑問や悩みを話し、共感しあうことで育児に対する負担感を軽減するとともに、参加者同士の交流や子育て情報の提供を行う。

【ボランティアセンターみずほ】

- ・ 読み聞かせボランティア講座（紙芝居）を開催し、大人から子どもまで幅広い年代の方が参加した。
- ・ 小学校での福祉体験（車いす体験、白杖体験等）を行っている。

【子育てサークル】

- ・ 月1回の居場所づくりでは、おもちゃ等で一緒に遊んでいる。保護者と話もしている。
- ・ 食育事業などのイベントで、一緒に工作
- ・ ふれあい祭りで輪投げ
- ・ 季節のイベントや制作、畑での収穫体験やクッキングなど、1年を通して子どもたちや保護者と様々な体験を楽しんでいる。

Q7. 図書館への意見・要望（原文まま）

【学校】

- ・町の図書館に資料をお願いする際どうしても猶予があまりない状態での依頼となってしまうにもかかわらず、迅速に資料を用意して下さりありがとうございます。図書館の廃棄本でいただいた絵本は大活躍をしております。廃棄図書でももう少し最近の小学生向けの読み物があるとありがたいです。
- ・本校での取組を全校に共有していただき、より本との関わりがもてるようにしていただくと良いと思います。
- ・思い出図書室への訪問、児童の作品の展示など学校と瑞穂町図書館の連携が深まることで児童の読書意欲の向上に繋がると思います。
- ・小学生の予約システム認可など進んでいくとますますおもしろいと思うのでよろしくをお願いします。
- ・いつもありがとうございます。
- ・「資料配送」では臨機応変にご対応いただき助かっています。
- ・新刊案内などのお便りがあると生徒に呼び掛けやすい。
- ・瑞穂第二中学校の学区からでは遠い位置にあるため、頻繁に利活用するには不便であるかと思う。
- ・誰もが安心して気軽に立ち寄れる、心地よいスペースを提供したいと心掛けています。
- ・いつも私たちのお願いに快くご対応いただき、ありがとうございます。今後とも変わらぬご支援をお願いできれば幸いです。

【幼稚園・保育園】

- ・きれいになりゆったりと過ごせるようになった。パネルシアターをお借りしましたが親切に車まで運んで下さりありがとうございました。いつも丁寧な対応感謝しております。
- ・図書館の中に集団で入れるものなののでしょうか？他の方がたのご迷惑になるかと気になっています。
- ・来館したいが、当園から現地までは車の交通量が多く、園児の体力低下等もあり年々厳しくなっている。また来館させていただく際は、よろしくお願いします。
- ・図書についての研修など、こども園（各施設）向けの読みきかせ会
絵本だけでなく、子どもに関わる人が読むと良い書籍の紹介など、あると良いかなと思います。

【児童館・学童保育クラブ】

- ・大型絵本や紙芝居などを借りて、イベントの時だけでなく、普段から読み聞かせ等していきたくと思います。児童おすすめの本を是非学童にも教えていただきたいです。

【保健センター】

- ・今後も、乳幼児を対象とした事業などで、リサイクル図書の提供や、絵本の紹介などのご協力をお願いします。ブックスタート事業については、図書館の職員に配布する図書の選定などに協力してもらえると、よりよい内容となると思います。

【子ども家庭支援センターひばり】

- ・ 今後もリサイクル図書による図書コーナーの充実について、図書選びや配架の工夫などの支援を引き続きよろしくお願いします。

【ボランティアセンターみずほ】

- ・ ご参考ですが、読み聞かせなども行っている地域の子育てサロンを含めたサロン活動は、ボランティアセンターから新たに開設された「地域ささえあい推進係」に移管されました。

【子育てサークル】

- ・ リクエストしたら、素早く渡していただけて助かります。
絵本がもう少し探しやすいとありがたいのですが
- ・ 先日、金沢の図書館に行ってきました。そこでは動詞で案内板が書いてあり、探す本を見つけやすいと思いました。また、イベントごとも多く、たくさんの方が来ていました。でも、今の瑞穂町図書館にものすごく満足しています。
- ・ 現在、わんぱくクラブはサロンとなり、年齢も未就園児から小学生と幅広い子どもたちが参加してくれています。そこで、夏休みや冬休みなど長期休暇を利用し、図書館とコラボして何か楽しめる活動が出来たら嬉しいです。